




オート床下カンキ 施工説明書

<用途>

この商品は、住宅の基礎立ち上がりコンクリートへ設置する形状記憶合金アクチュエータを搭載した自動開閉式床下換気口です。性能・耐久性に優れたNi-Ti(ニッケルチタン)系形状記憶合金が気温の変化を感知し、電力を使わずに羽根(可動ルーバー)を自動開閉させて床下の換気をコントロールします。

<安全上のご注意>


- 施工前に施工説明書を必ずお読みください。施工説明書に従って、正しく安全に施工してください。
- 施工説明書に記載されていない方法で施工されたことによって事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障や問題が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この施工説明書では、誤った取り扱いや、不適切な施工を行なった場合などに生じた障害や問題などを、次の『禁止』、『注意』、『指示』に区別して説明しています。

警告	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 機構部品の分解・改造は絶対に行わない ● 上・下を間違えて施工しない ● 部品が変形したり破損するなどして、自動開閉機能に支障を来す原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乱暴な取り扱いは絶対に行わない ● 部品を変形させない
注意	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工するとき設置開口部へ無理に押し込まない ● 作動確認や清掃のために前面パネルを付け外しする場合は取り付けねじを過剰に締め過ぎない ● 部品が変形・破損したり、外観や自動開閉の機能に支障を来す原因になります。 	
必ず守る	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工するとき羽根(可動ルーバー)を掴まない ● 施工する前と施工した後に羽根(可動ルーバー)が正常に動くことを確認する 	<p>正しく施工されていることを確認するために必ず行ってください。</p>

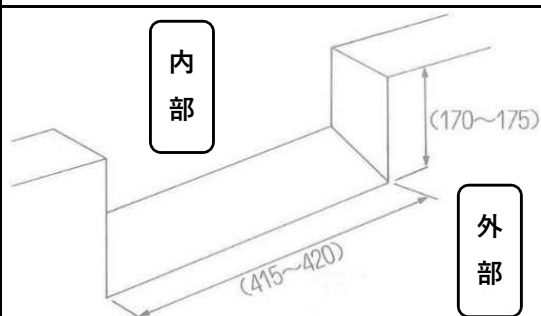
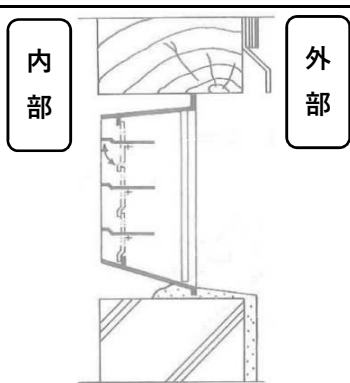
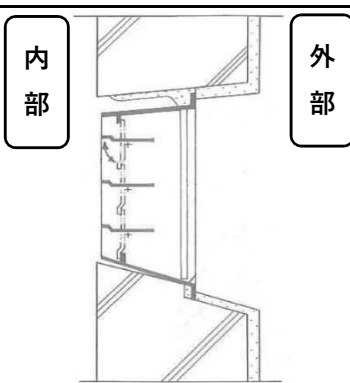
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅基礎の立ち上がりコンクリート部へ設置する形状記憶合金を搭載した自動開閉式床下換気口です。 ・形状記憶合金が気温の変化を感知して、自動開閉を行ない冬季の床下通気を遮蔽します。 ・耐蝕性に優れた材質を使用していますので、一般的な環境下における腐食を最大限抑制します。
性能	<ul style="list-style-type: none"> ・AYS03C〔温度感知・作動温度…■降温時：3℃までに自動閉 ～ □昇温時：9℃までに自動開〕 ・AYS12C〔温度感知・作動温度…■降温時：12℃までに自動閉 ～ □昇温時：18℃までに自動開〕 ・有効換気面積：300cm²以上(全開時)
材質	<ul style="list-style-type: none"> ・本体(ケーシング)、前面パネル、羽根(可動ルーバー)、SMAアクチュエータ・ケース：AES樹脂 ・ジョイント、ピン、SMAアクチュエータ・摺動スライダー：POM樹脂 ・形状記憶合金ばね：Ni-Ti系合金 ・補助ばね：SUS304WPB ・防虫網：SUS304

<施工手順>


① 基礎立ち上がり部のコンクリート打設



基礎立ち上がりコンクリートを打設する際は「商品外寸：W410mm、H165mm」ですので、金属製の型枠や木製の型枠などをご用意の上、設置部を「開口寸法：W415～420mm、H170～175mm」に打設してください。



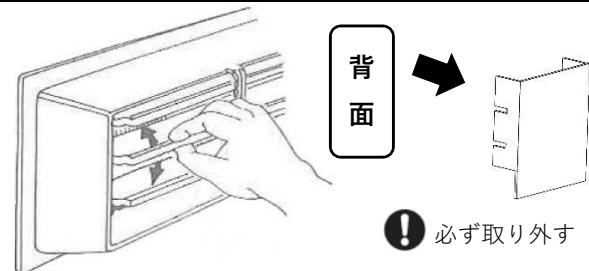

設置開口部寸法	基礎モルタル天端施工例	基礎モルタル中央施工例
 <p style="text-align: center;">内部 外部</p> <p style="text-align: center;">(170~175) (415~420)</p>	 <p style="text-align: center;">内部 外部</p> <p style="text-align: center;">(設置断面)</p>	 <p style="text-align: center;">内部 外部</p> <p style="text-align: center;">(設置断面)</p>

※ 設置する開口部へ傾斜をつけても構いません。



 傾斜角は〈15度〉以下にしてください。

< 施工手順 >

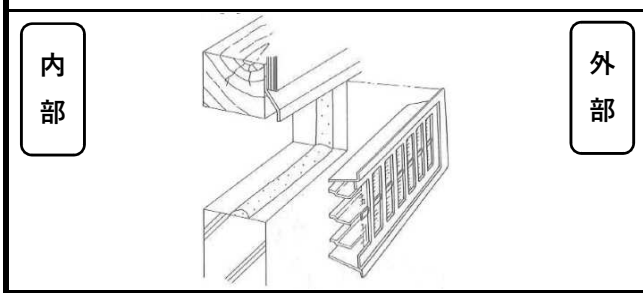
② 可動ルーバー（羽根）の作動確認

	<p>取り付け前に背面側から、指で羽根（可動ルーバー）を動かし、異常がないことを確認してください。 気温が高いときは、形状記憶合金ばねの力が強くなり、羽根（可動ルーバー）は開こうとします。 気温が低いときは、形状記憶合金ばねの力が弱くなり、閉じようとしませんが異常ではありません。</p>	
	<p>乱暴な取り扱いには絶対に行わないでください。 この商品は精密なセッティングを施した形状記憶合金アクチュエータを搭載しています。落下させたり、機構部を分解したりしないでください。</p>	<p style="text-align: center;">取り付け前の確認</p> 
	<p>設置する前に羽根（可動ルーバー）脱落防止用の段ボール紙を必ず取り外してください。樹脂部品に無理な力を加えないようにしてください。</p>	

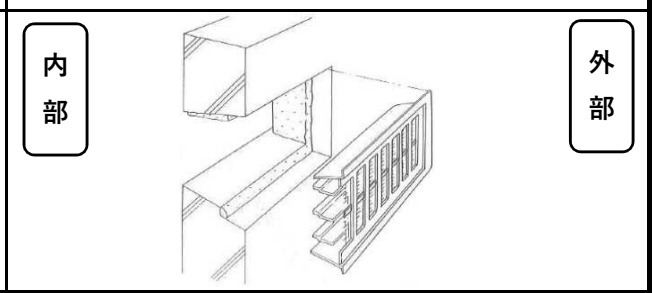
③ 設置する開口部へのモルタル塗布 ～ ④ オート床下カンキの設置

	<p>ケーシング（本体）の刻印を確認のうえ、上下を間違えないように設置してください。 モルタルを過剰に塗布し過ぎないように設置してください。過剰な塗布はケーシング（本体）を変形させたり押し出された余分なモルタルが機構部へ巻き込んだりして、開閉作動に支障を来す場合があります。</p>
	<p>開口寸法が小さい場合やモルタルの硬化が進んだ状態で、無理に開口部へ押し込むと、ケーシング（本体）に変形をきたし、開閉作動に支障を来したり、前面パネルが変形するなどの障害を招く恐れがあります。</p>



基礎モルタル天端施工例



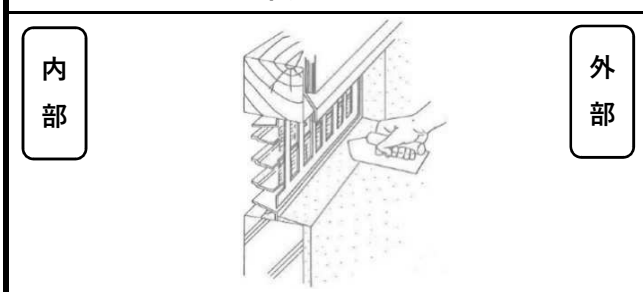
基礎モルタル中央施工例



⑤ 開口部廻りの仕上げモルタル ～ ⑥ 仕上げ後に正しく動くことを確認

	<p>前後に倒れないように注意しながら、ケーシング（本体）の外周（縁）を押さえるように仕上げてください。 前面パネルを留めるねじは、防虫網や前面パネルが湾曲しないように適度な力で締めてください。</p>
	<p>取り付け後に、前面パネルを外し、指でジョイント（羽根連結部品）を上下に動かし、羽根（可動ルーバー）の作動に異常がないことを確認してください。</p>

開口寸法



取り付け前の確認

